













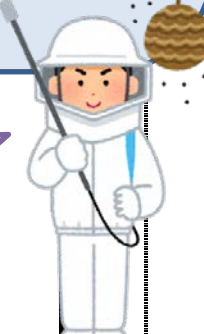


# ハチの営巣活動と出沒時期のイメージ

※詳細版

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
<p><b>アシナガバチ</b> (出沒頻度：とても高い)</p> <p>女王蜂1匹の小さい巣</p> <p>巣がどんどん大きくなる</p> <p>スズメバチに襲われて避難する蜂が現れる</p>    <p>↑避難蜂が集まる様子</p>						 <p>アシナガバチ</p>					
<p><b>コガタスズメバチ</b> (出沒頻度：アシナガバチの半分程度)</p> <p>トックリの巣</p> <p>巣がまんまるになり、どんどん大きくなる</p>						<p><b>スズメバチ</b></p> 		<p><b>キイロスズメバチ</b> (出沒頻度：オオスズメ・ヒメスズメの2倍くらい)</p> <p><b>オオスズメバチ</b> (出沒頻度：低い)</p> <p><b>ヒメスズメバチ</b> (出沒頻度：低い)</p>   			
<p><b>ミツバチ</b> (出沒頻度：かなり低い)</p> <p>巣別れをする(分封)</p> <p>営巣しはじめる</p> <p>スズメバチ等に襲われる</p>      <p>ミツバチ</p>											

冬の時期になると、働きバチは役目を終えて死んでしまいます。次世代の女王バチは温度変化の少ない屋根裏や巣の中や木の洞などで春を待ちます。

ハチの習性として、一度作って使った巣を次の年以降にまた使うことはないのので、春になると新しい女王バチは巣を一から作り始めます。

そのため、冬の時期に残っている巣の多くは「古巣」といって使い終わった巣です。巣の中は空っぽだったり、死んでいる蜂や弱って飛べない蜂が入っていることはありますが、そのままにしても刺される危険性は非常に低いです。

巣を見つけて心配なときはすぐやる課までお気軽にご連絡ください！

※ 当課での要望受付の実績から考案して作成したものです。その年の気候の変化等によっては、始まりと終わりの時期が多少ずれることもあります。